

平成31年度（2019年度）熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	保健体育	科目（単位数）	保健（1）	学年	2	類型	全クラス
学習目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	生涯の段階における健康 ・思春期と健康 ・結婚生活と健康	生涯にわたって健康を保持増進するためには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかっていること。				取組	A B C D
1学期中間 ～期末考査	生涯の段階における健康 ・結婚生活と健康	生涯にわたって健康を保持増進するためには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかっていること。				理解	A B C D
1学期期末 ～2学期 中間考査	生涯の段階における健康 ・加齢と健康 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 ・我が国の保健・医療制度 ・地域の保健・医療機関の活用	生涯を通じて健康の保持増進をするには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター医療機関などを適切に活用することが重要であること。また、医薬品には有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であること。				関心	A B C D
2学期中間 ～期末考査	様々な保健活動や対策 環境と健康 ・環境の汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策	我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や対策などが行われていること。人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。				取組	A B C D
2学期期末 ～3学期 学年末考査	環境と食品の保健 ・環境保健にかかわる活動 ・食品保健にかかわる活動 ・健康の保持増進のための環境と食品の保健	環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていること。				理解	A B C D
3学期 学年末考査 ～年度末	労働と健康 ・労働災害と健康 ・働く人の健康の保持増進	労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があること。				関心	A B C D
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「現代高等保健体育改訂版」（大修館書店） 副教材：「現代高等保健体育ノート改訂版」（大修館書店）						
学習方法	講義・グループワーク						
評価方法	定期考査（期末考査及び学年末考査を実施） 提出物 授業に臨む態度						